

**平成23年度
和文化教育第7回全国大会
東広島大会**

東広島から発信！和文化教育のさらなる前進をめざして

～被災地に伝えよう「がんばろう！日本」～

平成23年11月2日(水)・3日(木)

主催 和文化教育研究交流協会
和文化教育第7回全国大会東広島大会実行委員会
共催 東広島市
後援 文部科学省、広島県教育委員会
日本教育新聞社、東広島こころ塾
(社)青少年育成東広島市民会議
主管 東広島市教育委員会
東広島市立志和中学校

目 次

■ごあいさつ	1
■大会要項	2
■会場案内図	3
■第1日目〔11月2日(水)〕	4

平成22・23年度東広島市教育研究指定校

東広島市立志和中学校教育研究会

研究主題

「学習意欲を喚起し、思考力、表現力を高めるための豊かな学びの創造」
～和文化学習を通じた、心技体一致の教育の展開～

- 授業公開
- 生徒発表 志和中学校
- 開会行事
- シンポジウム（研究発表含）
- 閉会行事

■第2日目〔11月3日(木)〕	7
-----------------	---

- 開会行事
- 特別講話 和文化教育研究交流協会 会長 山折 哲雄
- 特別講演 環太平洋大学 学長 梶田 叡一
- 現状報告 岩手県和文化教育実行委員会より
- 児童発表 寺西小学校 創作表現「大地の響」
- 被災地へのメッセージ
- 分科会
- 神楽上演 土居神楽団
- 東広島市の和文化教育
- 閉会行事

各都道府県教育委員会教育長 様
 各市町村教育委員会教育長 様
 各学校長・各教育関係者 様
 各協会会員・各関係者 様

和文化教育研究交流協会会長 山折哲雄
 和文化教育第7回全国大会東広島大会実行委員会委員長 大畑和典

和文化教育第7回全国大会東広島大会 東広島市立志和中学校教育研究会 (ご案内)

◇大会テーマ

東広島から発信！和文化教育のさらなる前進をめざして
 ～被災地に伝えよう「がんばろう！日本」～

秋涼の候、皆様方におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
 さて、本交流協会では、和文化教育の推進を目的に全国大会を毎年開催し、「和文化の風」を全国に届けております。東広島市では、平成20年度より、市内すべての幼稚園、小・中学校で取り組んでいる一校一和文化学習をはじめ、伝統を継承し、新しい文化を創造する和文化教育を推進してきております。その東広島市で、第4回大会に続き、東広島市の教育を全国へ再び発信する大会を開催し、和文化教育のさらなる前進を図っていきたいと考えております。本年度は、岩手大会として開催の予定でしたが、震災の影響により、急遽変更し、東広島市での開催となりました。東広島から被災された皆様に、元気を送る大会を行ってまいりたいと考えています。
 つきましては、ご多用のことと存じますが、多くの皆様にご参加いただきたくご案内申し上げます。

記

期 日 平成23年11月2日(水)～3日(木)

会 場 【1日目】 東広島市立志和中学校
 〒739-0268 東広島市志和町志和西1432番地 Tel082-433-2019
 【2日目】 東広島市中央生涯学習センター
 〒739-0015 東広島市西条栄町7番48号 Tel082-423-8211

- ◇主 催 和文化教育研究交流協会、和文化教育全国大会東広島大会実行委員会
- ◇共 催 東広島市
- ◇後 援 文部科学省(申請中)、広島県教育委員会(申請中)、日本教育新聞社(申請中)
 青少年育成東広島市民会議、東広島こころ塾
- ◇主 管 東広島市教育委員会、東広島市立志和中学校

◇大会日程

《大会1日目－11月2日(水)》 会場:東広島市立志和中学校

東広島市立志和中学校教育研究会						
	授業公開 及び 展示発表		移動	全体会①		
受付			生徒発表 志和中学校 「全校合唱」	開 会 行 事	パ ネ ル デ ィ ス カ ッ シ ョ ン (含、研究報告)	閉 会 行 事
	13:00	13:15	14:05	14:25	15:00	16:25 16:30

《大会2日目－11月3日(木)》 会場:東広島市中央生涯学習センター

全体会②							全体会③					
受付	開 会 行 事	特 別 講 話	特 別 講 演	(現 状 報 告) (岩 手 県 よ り)	児 童 発 表 寺西小学校 「大地の響」	被 災 地 へ の メ ッ セ ー ジ	昼 食	分 科 会	神 楽 上 演	和 文 化 教 育 市 発 信	閉 会 行 事	
	8:30	9:00	9:15	9:30	11:00	11:50	12:00	13:00	14:00	14:50	15:10	15:20

◇大会内容

【1日目】

1 東広島市立志和中学校研究公開

◆平成22・23年度東広島市教育研究指定校◆

研究主題「学習意欲を喚起し、思考力・表現力を高めるための豊かな学びの創造」
～和文化学習を通じた、心技体一致の教育の展開～

志和中学校では、「平成22・23年度 東広島市教育推進指定校」の指定を受け、和
文化学習を切り口として、「授業改善」「体験活動と構えづくり」「言語力の育成」「和
の人間関係づくり」の4本柱を中心に、研究実践を重ねてきました。これまでの4年間の
取組みをさらに深化・充実させ、その成果を「東広島市教育推進指定校」として、本研究
大会において東広島市内外の学校に披露し、和文化学習の素晴らしさを全国に発信し、広
めていきたいと考えています。

◆授業公開◆

学級	教科等	単元名等	授業者
1年1組	道徳	「神楽に懸ける」 生きがいを求める 1-(4)	橘和 貴美与
1年2組	道徳	「一滴にかける思い」 郷土を愛する心 4-(8)	正原 美智子
2年1組	保健体育	武道(杖道)	番匠谷 淳司
2年2組			天野 優紀
3年1組	国語	俳句の世界～ミニ俳句甲子園～	高井 基子
3年2組			笹田 耕司

2 展示発表

一校一和文化学習の取組み(東広島市の幼稚園、小学校及び中学校によるパネル展示)

3 生徒発表

東広島市立志和中学校 全校合唱「ふるさと」他

4 パネルディスカッション(研究発表も含む)

テーマ： 「これからの和文化教育の可能性をさぐる」

コーディネーター：東広島市教育委員会 学校教育部
指導課長 澤田直哉

パネリスト： 兵庫教育大学 教授 中村 哲 先生
兵庫教育大学 教授 浅川 潔司 先生
東広島市立志和中学校 教諭 高井 基子 先生
東広島市立志和中学校 生徒代表

志和中学校では、武道におい
て、杖道(じょうどう)に取り組ん
でいます。



武道(杖道)の授業の一場面

中村 哲(なかむら てつ)

神戸市生まれ。昭和46年3月、兵庫県立長田高等学校を経て、広島大学に入学し文学部哲学科中国哲学を専攻。広島大学大学院教育学研究科教科教育学(社会科教育)先行。東京工業大学において博士(学術)を取得。秋田大学助教授、兵庫教育大学助教授を経て平成7年より現職。専門分野は社会科教育学、教育工学、和文化教育。



平成13年より和文化教育研究交流学会理事長。主な著書 編著『『和文化的風』を学校に一心技体の場づくり』、編著「グローバル教育としての社会科カリキュラムと授業構成」など。

浅川 潔司(あさかわ きよし)

広島大学大学院教育学研究科において、教育心理学を専攻。米国Clark大学心理学科大学院へ留学。平成9年より、兵庫教育大学学校教育部教授、平成16年より甲南大学大学院非常勤講師、平成17年から兵庫教育大学大学院学校教育研究科教授。

主な著書「人生移行の発達心理学」、「児童期の共感性に関する発達の研究」(共著)など。



【2日目】

5 特別講話

和文化教育研究交流協会会長 山折 哲雄

山折 哲雄(やまおり てつお)

昭和6年、岩手県生まれ。東北大学インド哲学科卒業。同大学院文学研究科博士課程修了。東北大学教授、国立歴史民俗博物館教授、白鳳女子短期大学学長、京都造形芸術大学学長、国際日本文化研究センター所長などを歴任。和辻哲郎文化賞(平成14年)、第54回日本放送協会放送文化賞を受賞。主な著書『日本宗教文化の構造と祖型』『仏教とは何か』『神と仏』『臨死の思想』『日本人の靈魂観』『日本人の宗教感覚』『鎮守の森は泣いている』など。



6 特別講演

演題：「新しい教育基本法と新学習指導要領を踏まえた和文化教育の創造」

講演者：環太平洋大学 学長 梶田 叡一 様

梶田 叡一(かじた えいいち)

昭和16年、島根県生まれ。昭和39年京都大学文学部哲学科(心理学専攻)卒業。国立教育研究所主任研究官、日本女子大学文学部助教授、大阪大学教授、京都大学高等教育教授システム開発センター長、京都ノートルダム女子大学学長を経て、平成16年12月から兵庫教育大学学長。平成13年2月から中央教育審議会委員となり、平成19年2月からは副会長を務める。主な著書『和魂に学ぶ日本人の源流をもとめて』『新しい学習指導要領の理念と課題—確かな学力を基盤とした生きる力』『自己を生きるという意識—われの世界と実存的自己意識』など。



7 児童発表

東広島市立寺西小学校第6学年 創作表現「大地の響」

8 分科会(実践事例交流会)

第1会場 調整中
第2会場 調整中
第3会場 調整中

各会場 3提案ずつ発表

(1提案:発表(15分)、質疑応答(5分)×3提案)

東広島市からの提案校(予定)

〔西条中学校、中央中学校、造賀小学校、河内小学校〕

実践提案を募集します！

第7回東広島大会で、実践提案を希望される市町教育委員会及び学校は、概要の分かる資料とともに、次の必要事項を明記した申込書(様式自由)をFAX及び電子メールで東広島大会実行委員会事務局に送付してください。なお、参加費は不要ですが、旅費等は自己負担です。また、準備の都合上、申込みは平成23年10月初旬で締め切り、10月中旬に決定通知を送付する予定です。

<必要事項：学校(団体名)、所在地と電話番号、代表者名と連絡先、希望する分科会名とテーマ、参加人数>

9 神楽上演

土居神楽団による上演。志和中学校卒業生が所属。授業公開する道徳の時間の自作教材にもなっています。

◇参加対象者

会員 和文化教育研究交流協会

会員外 学校教育関係者、和文化教育に関心のある一般の方

◇大会及び懇親会参加費

大会 2,000円 (資料代を含む)

懇親会 賀茂泉館5F 参加費 6,000円 広島県東広島市西条本町12-5

◇大会申し込み方法

申込書に必要事項を記入の上、FAXにて新広島トラベル株式会社 和文化教育第7回全国大会東広島大会係へ申し込みをしてください。(電話及びメールでの受付はいたしません。)

なお、宿泊の希望については、希望のある方のみ後日別途ご案内いたします。

申込締切：平成23年10月7日(金)

◇大会連絡先

【東広島大会実行委員会事務局】 〒739-8601 広島県東広島市西条上市町7番42号

TEL(082)420-0976 FAX(082)423-7551

E-mail hgh200976@city.higashihiroshima.hiroshima.jp

東広島市教育委員会 学校教育部 指導課 三谷 晶子

【東広島市立志和中学校】

〒739-0268

広島県東広島市志和町志和西1432番地

TEL(082)433-2019 FAX(082)433-2089

E-mail shiwa-chu@city.higashihiroshima.hiroshima.jp

東広島市立志和中学校 教頭 名越 裕章

【和文化教育研究交流協会事務局】

〒673-1494

兵庫県加東市下久米942番地1

TEL(0795)44-2154 FAX(0795)44-0174

E-mail tenaka@hyogo-u.ac.jp

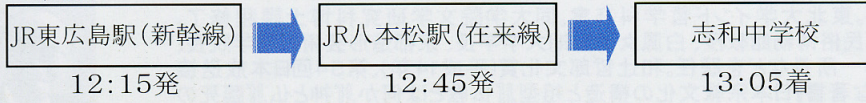
兵庫教育大学 中村 哲

◇会場までの交通案内

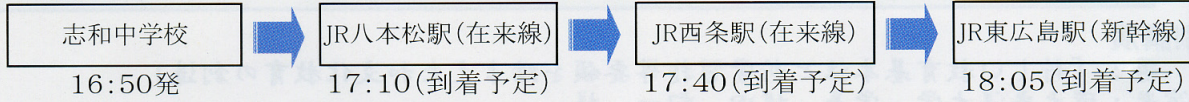
◆【1日目】東広島市立志和中学校へのアクセス

○シャトルバスを運行(最寄りの駅⇔志和中学校)します。

《往路》



《復路》



※復路については、交通状況により到着時間が変わる可能性があります。

○公共交通機関をご利用の場合

JR山陽本線・八本松駅で下車。芸陽バス(志和循環線)「西回り」「東回り」どちらでも「志和中学校」下車。

○お車をご利用の場合(山陽自動車道利用の場合)

山陽道・志和インターチェンジから県道85号線(志和インター線)へ左折。「貞岡交差点」50m先のT字路を右折(福富方面)、そのまま県道33号線(瀬野川・福富・本郷線)を約2.7km。

◆【2日目】東広島市中央生涯学習センター(旧中央公民館)へのアクセス

JR山陽本線・西条駅で下車。徒歩5分。JR山陽新幹線・東広島駅で下車。タクシーで15分。山陽道・西条インターチェンジから国道375号線を車で10分。

◆会場周辺の略図

